

## 第12回旧RD最終処分場問題連絡協議会の開催結果

■日 時 平成27年5月14日（木）19:00～20:45

■場 所 栗東市コミュニティセンター治田東

## ■質疑概要

## 1. 平成27年度のスケジュールについて

◇可燃物等の比重はどのような方法で出したのか。

→可燃物は環境省の通知にある換算係数から算出した比重を用いましたと回答しました。

◇掘削能力、選別能力はいくらか。

→掘削能力は200 m<sup>3</sup>/日、選別能力はふけた状態で300 m<sup>3</sup>/日ですと回答しました。

◇次回の見学会の予定はどうか。

→A工区の掘削が進んだ時点で複数回実施する予定だと回答しました。

## 2. 平成26年度の第4回モニタリング結果について

◇H26-S2の井戸の洗浄は終わったのか。

→洗浄が終わったので次回から計測結果をお示ししますと回答しました。

## 3 選別施設の稼働状況について

◇溶融炉建屋に保管されていたもので、この表に含まれていないものはあるか。

→溶融炉建屋で保管していたものは選別を行わずに直接処分しており、表には計上していません。なお、処分したものもありますが、処分方法が決まっていない一部は現地で保管していますと回答しました。

## 4 その他

## (1) 井戸の閉塞方法について

◇B-2.No.9（新）以外の井戸について問題はないのか。

→その他の地点においては、現時点では汚染の拡散はないと考えているが、将来的にはその恐れもあるので順次閉塞していきますと回答しました。

◇溶融炉建屋には基礎杭が数多くあり漏洩の問題がある場所があるので調査すべきではないか。

→当時の施工状況を確認した結果、問題はないと評価しています。なお、DE工区の掘削時に一部の杭が露出するので確認しますと回答しました。

◇ケーシングの引き抜きのタイミングは充填剤が固まってからか。  
→固まってからでは粘土層との間に隙間ができる恐れがあるので、密着を図るべく固まる前に引き抜きますと回答しました。

(2) 底面遮水工における事前調査ボーリングの結果について

◇市道側は確認する必要があるのか。  
→市道側は3~5mと浅いので、実際に掘削する時に確認する予定だと、回答しました。

◇粘土層の厚さが50cmしかないところは遮水工の厚さを足すのか。  
→確実な遮水ができるようしっかり確認して対応しますと回答しました。

(3) 鉛直遮水壁の施工について

◇TRDの強度に差が出るのはなぜか。  
→場所によって土の組成が違うので、差が出ています。最低のところでも規格値を確実に超える強度ができるように対応していますと回答しました。